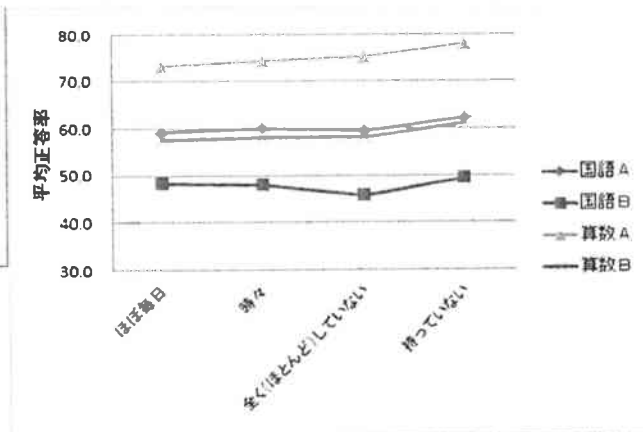
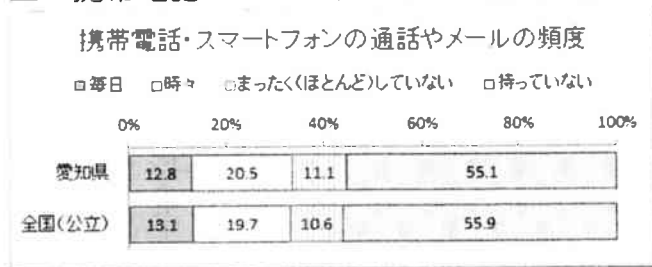
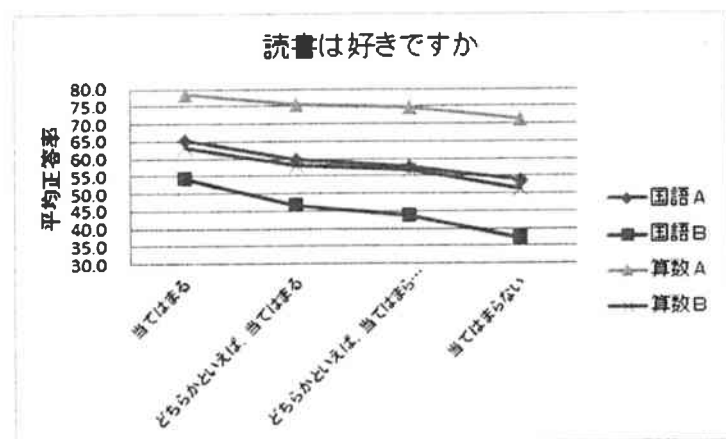
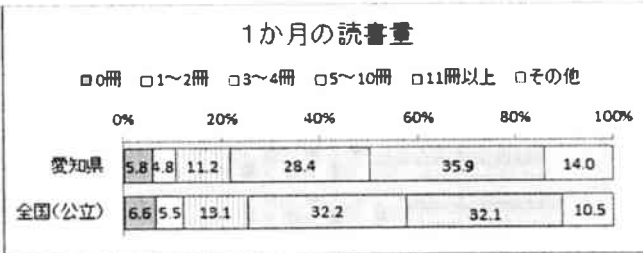
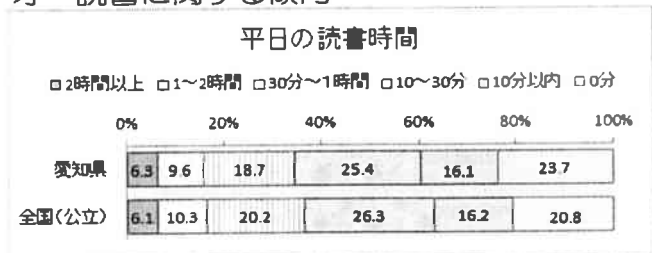


エ 携帯電話・スマートフォンの使用頻度と平均正答率に関する傾向



オ 読書に関する傾向



◇本県の傾向

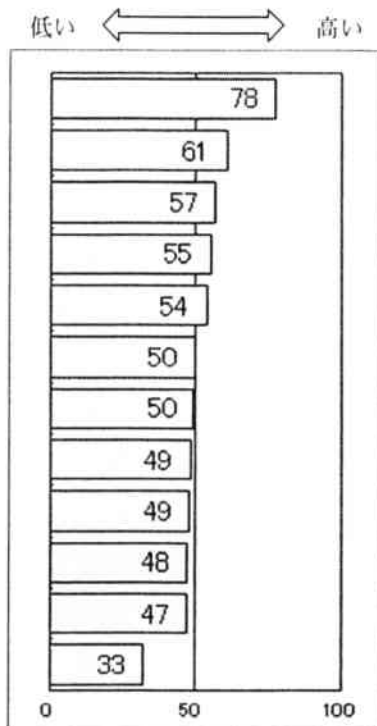
本県の小学生の携帯電話の所持の状況は、全国とほぼ同様である。一方、読書については、読書時間はやや短いものの1か月の読書量は、全国に比べやや多い。

「読書は好きですか」の質問に対し肯定的な回答をしている児童ほど、教科に関する調査の平均正答率が高い。算数よりも国語の教科に関する調査の結果が振るわない本県の状況を考えると、豊富な読書量を確保し、言葉の力を磨いていくことは、これまで同様大切な改善の方策の一つである。

6 生徒質問紙から見られた傾向

(1) 学習への関心・意欲・態度に関する傾向

愛知県結果

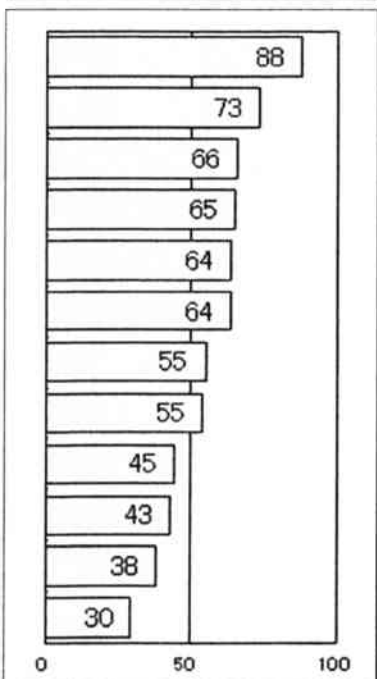
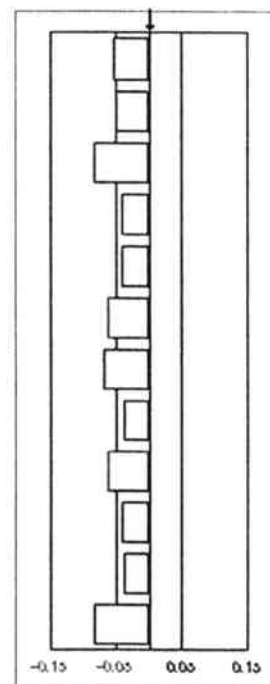


<国語に関する質問>

- ・国語の勉強は大切だと思いますか
- ・授業の内容はよく分かりますか
- ・文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか
- ・授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか
- ・国語の勉強は好きですか
- ・目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか
- ・本や資料を読むとき、書かれている内容が事実か意見かに気を付けて読んでいますか
- ・分からない言葉に出合ったとき、辞書を引いて言葉の意味を理解するようにしていますか
- ・意見を書くとき、意見の根拠として取り上げる資料や具体例が適切かどうかをよく考えて使っていますか
- ・調べたことなどを発表するときに、聞き手のことを考えて資料の作り方を工夫していますか
- ・意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか
- ・古典は好きですか

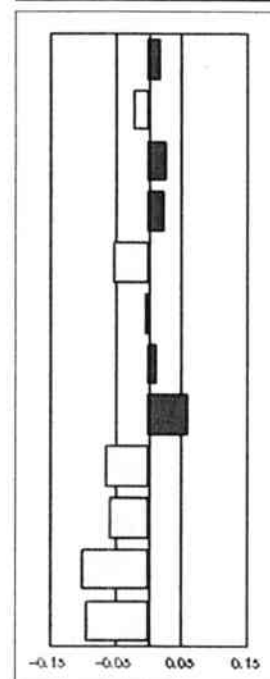
全国比較

← 全国値 → +



<数学に関する質問>

- ・数学ができるようになりたいと思いますか
- ・数学の勉強は大切だと思いますか
- ・数学の授業の内容はよく分かりますか
- ・授業で問題をもっと簡単に解く方法がないか考えますか
- ・公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか
- ・解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか
- ・数学の勉強は好きですか
- ・文字を使った式について学習するとき、表した式が何を意味しているかを考えようとしていますか
- ・方程式を使って問題を解くために、数量の関係を、表や線分図などで確かめながら式をつくっていますか
- ・関数の問題を考えるとき、2つの数量の関係を、表、式、グラフを使って考えるようにしていますか
- ・図形の証明について学習するとき、いくつかの図について証明したことが成り立つかどうかを調べるようにしていますか
- ・授業でヒストグラムなどから分かることを説明したことがありますか



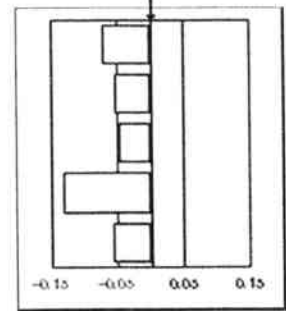
◇本県の傾向

- ・国語や数学の重要性はよく理解している。また、国語に関する質問すべてで全国を下回っているのに対し、数学への関心・意欲については、全国を上回っている。
- ・数学の「方程式を使って問題を解くために、数量の関係を、表や線分図などで確かめながら式をつくっていますか」など、下位の項目については、数学に苦手意識をもつ生徒の解消のための授業の手立ての参考になる内容である。

【中学校】

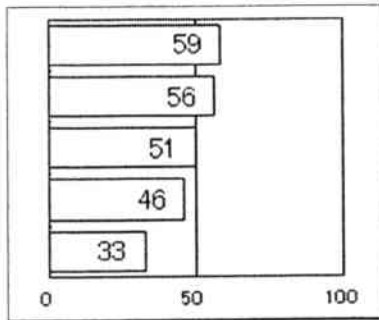
全国比較

← 全国値 → +



愛知県結果

低い ← → 高い



＜国際理解・総合に関する質問＞

- ・「総合の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか
- ・外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいしてみたいと思いますか
- ・英語の学習は好きですか
- ・「総合の時間」、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
- ・将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思いますか

◇本県の傾向

中学生も全国に比べ、小学校3, 4年以前に英語を学び始めた生徒が多い。

総合的な学習の時間における探究活動に取り組んでいるという意識の生徒が全国に比べ少ない。生きる力の育成のためにも総合の充実が必要である。

英語を学び始めた時期

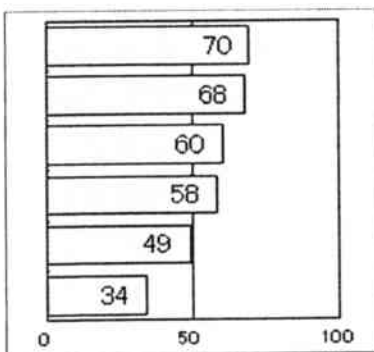
- 小学校入学前 □小学校1, 2年 □小学校3, 4年
- 小学校5, 6年 □中学校1年以降

0% 20% 40% 60% 80% 100%

愛知県	13.3	11.9	22.0	33.0	19.6
全国(公立)	10.7	11.6	18.7	39.1	19.6

愛知県結果

低い ← → 高い

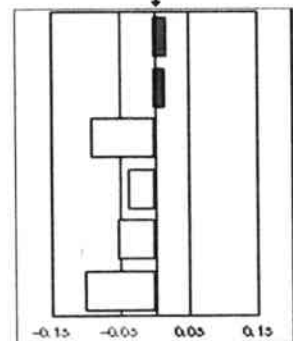


＜学習方法・内容に関する質問＞

- ・普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか
- ・コンピュータや電子黒板を使った授業は分かりやすいと思いますか
- ・普段の授業では、はじめに授業の目標(めあて・ねらい)が示されていると思いますか
- ・普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか
- ・普段の授業では、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか
- ・普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか

全国比較

← 全国値 → +



◇本県の傾向

「はじめに授業の目標」を示されていると回答した生徒(60)は、学校質問紙の教師の回答(75)より15ポイント低い結果となった。教師の指導が生徒に自覚できるような工夫が望まれる。

約9%の生徒が、「授業中分からないことがあってもそのままにしておく」と回答した。生徒の理解の程度を捉えて授業を進めたい。

授業中分からないことがあったらどうするか

- その場で教師に尋ねる □授業後教師に尋ねる □友達に尋ねる
- 家の人に尋ねる □自分で調べる □そのままにしておく

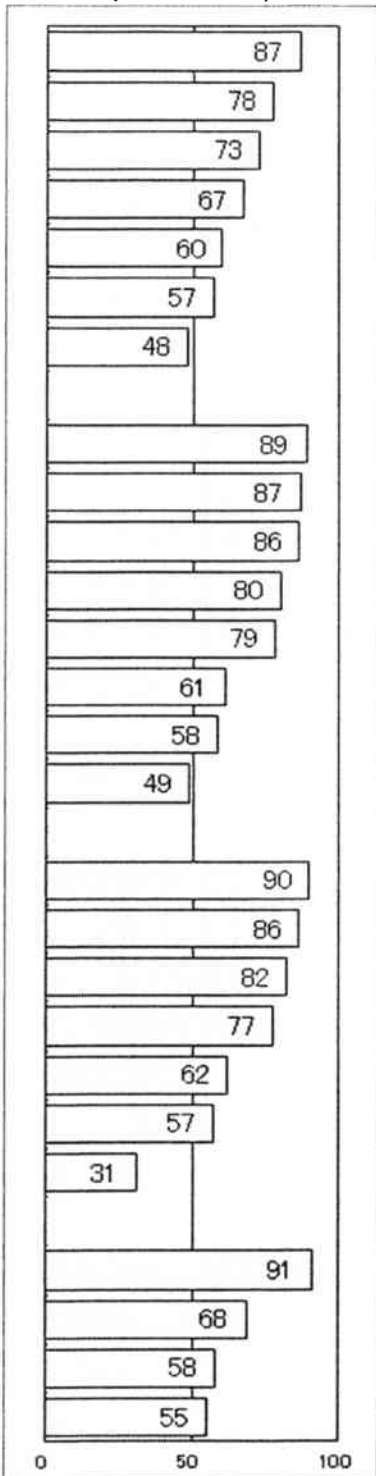
0% 20% 40% 60% 80% 100%

愛知県	9.7	14.9	40.1	8.5	16.0	9.1
全国(公立)	12.1	12.7	41.7	7.0	15.8	8.9

(2) 道徳性に関する傾向

愛知県結果

低い ← → 高い



＜自分自身に関すること＞

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか
- ・自分の考えや気持ちを理解してくれる友達がありますか
- ・学校に行くのは楽しいと思えますか
- ・あなたには「あのような人になりたい」と思う人はいますか
- ・自分には、よいところがあると思えますか
- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか
- ・自分の行動や発言に自信を持っていますか

＜身近な人との関わりに関すること＞

- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思えますか
- ・友達との約束を守っていますか
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- ・一人一人の人間には考えや性格などに違いがあるということ大切にしていますか
- ・友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか
- ・友達が悪いことをしたときは注意しますか
- ・友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか
- ・友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか

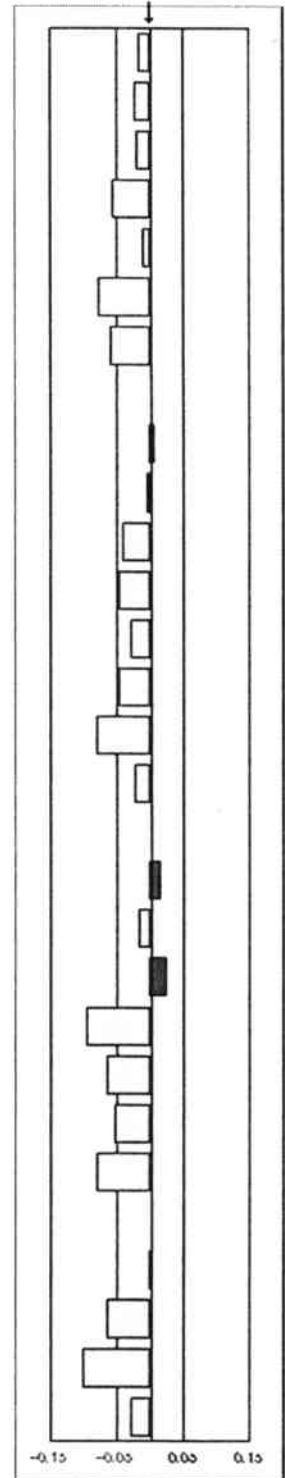
＜学校や地域・社会に関すること＞

- ・学校で友達に会うのは楽しいと思えますか
- ・人の役に立つ人間になりたいと思えますか
- ・学校の規則を守っていますか
- ・近所の人に会ったときは、挨拶をしていますか
- ・携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
- ・家の手伝いをしていますか
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

＜将来に関すること＞

- ・将来何かの職業や仕事に就いて働きたいと思えますか
- ・将来の夢や目標を持っていますか
- ・将来の夢や目標を実現するために努力していますか
- ・家の人と将来のことについて話すことがありますか

全国比較
← 全国値 → +



◇本県の傾向

道徳的に大切なことは理解しているが、小学生以上に、人前で行動したり発言したりすることに苦手意識をもっていることが鮮明になっている。将来に関する質問では、「将来何かの職業についてはたらきたいと思えますか」の質問で肯定的な回答の割合が小学校より高く、キャリア教育の成果が現れた結果となった。

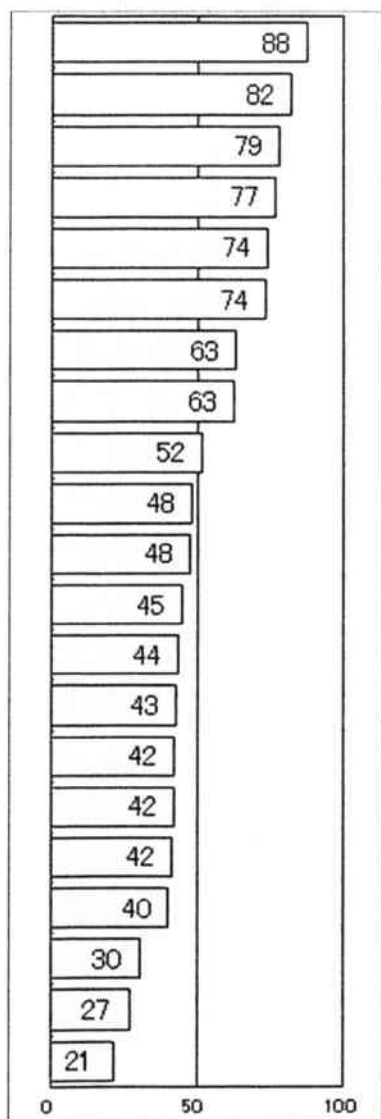
ここにあげた項目については、肯定的な回答をしなかった生徒に焦点を当てた指導も重要であり、全生徒が「いじめはいけない」「学校は楽しい」等と感ぜられるような指導を心がけたい。

(3) 学習を支える生活環境・習慣の傾向

ア 全体の傾向

愛知県結果

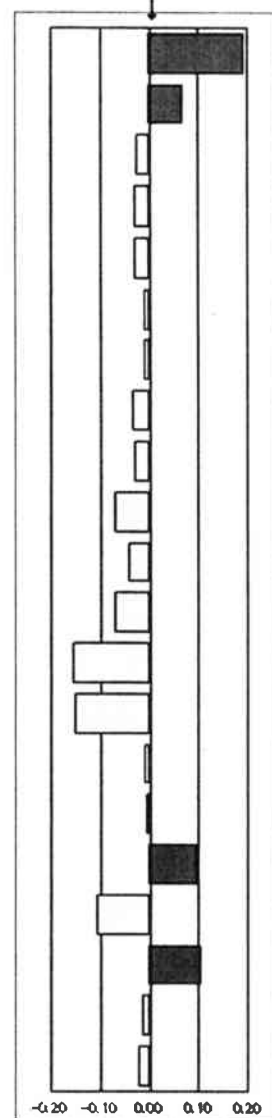
低い ← → 高い



＜生活習慣・地域との関わりに関する質問＞

- ・家で、学校の宿題をしていますか
- ・学校の部活動に参加していますか
- ・家の人と普段、夕食を一緒に食べていますか
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか
(携帯電話やスマートフォンを使う場合含む)
- ・家の人は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか
- ・自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか
- ・家の人に「勉強なさい」と言われますか
- ・家の人と学校での出来事について話をしていますか
- ・地域の大人から褒められたことがありますか
- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか
- ・年上や年下の友達と一緒に遊んだり、勉強したりすることがありますか
- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか
- ・家で、学校の授業の復習をしていますか
- ・家で、苦手な教科の勉強をしていますか
- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか
- ・地域の大人から注意されたことや、友達や他の子どもが注意されているのを見たことがありますか
- ・家で、学校の授業の予習をしていますか
- ・家で、テストで間違えた問題について勉強していますか
- ・新聞を読んでいますか
- ・地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか
- ・地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか

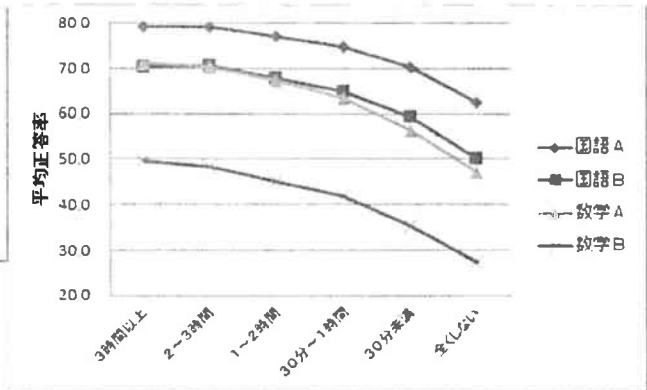
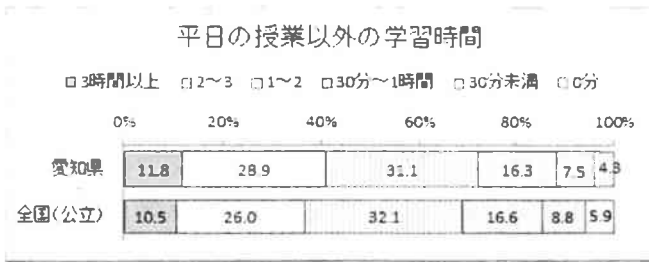
全国比較
← 全国値 → +



◇本県の傾向

- ・小学生同様、家庭学習では、宿題をしっかり行うことができる反面、予習や復習を行ったり、自分で計画を立てて勉強したりする生徒の割合は少ない。
- ・学校の部活動に参加する生徒の割合が多く、逆に地域の行事への参加が小学生に比べ少なくなっている。
- ・小学生に比べ「家の人に『勉強なさい』と言われますか」の質問への肯定的な回答が増えている。
- ・携帯電話やスマートフォンの所持率が、全国に比べ高いためか、「ニュース番組やインターネットのニュースを見ますか」の肯定的な回答の割合が高い。

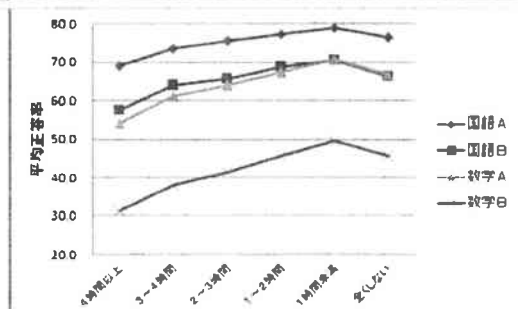
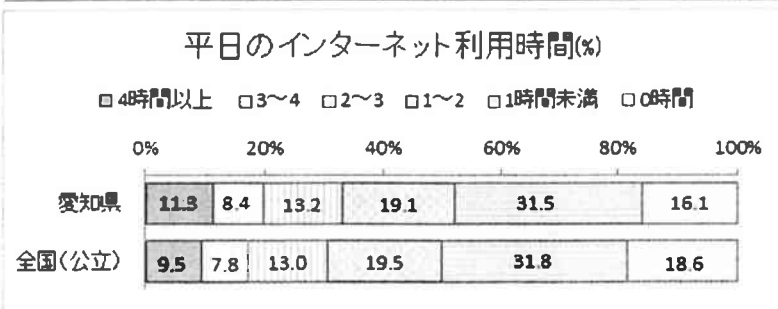
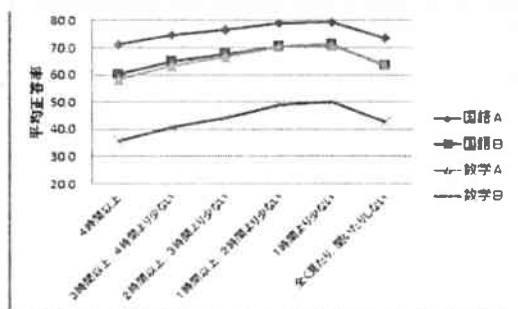
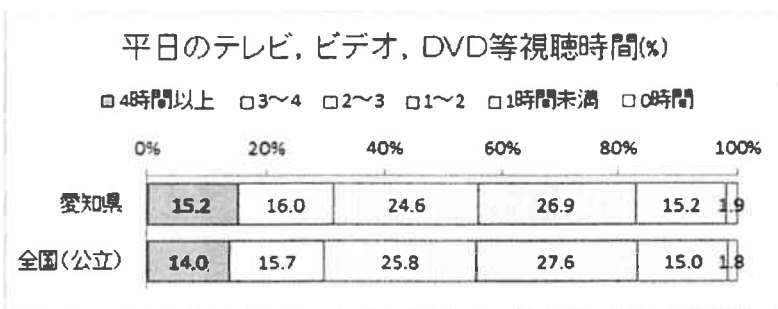
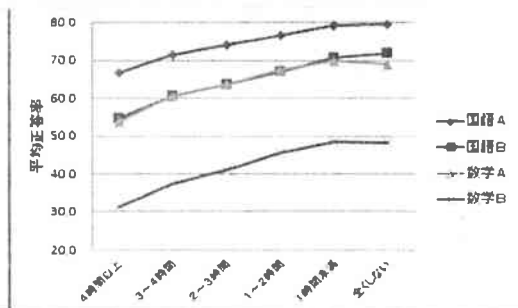
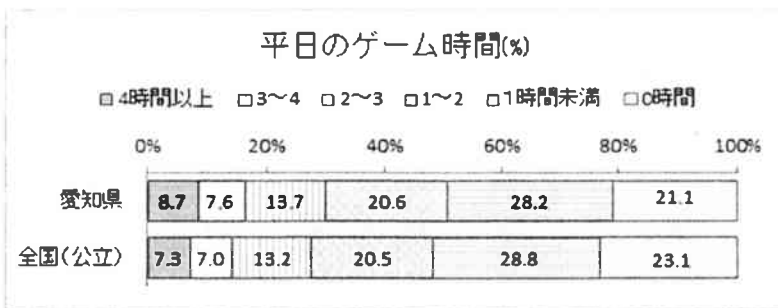
イ 学習時間と平均正答に関する傾向



◇本県の傾向

2時間以上家庭学習をする中学生が全国よりも多いものの全体の4割程度である。また、1時間未満の生徒が3割近い状況を考えると、各学校の現状に応じて、家庭学習についての指導が必要と考える。

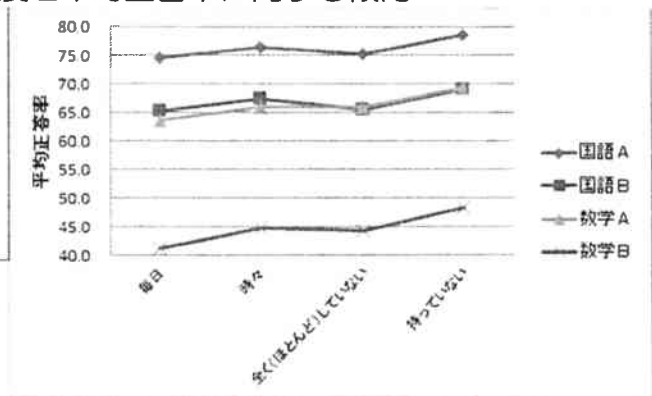
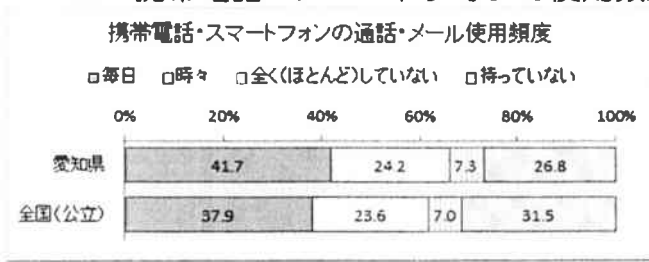
ウ ゲーム・テレビ視聴時間等と平均正答率に関する傾向



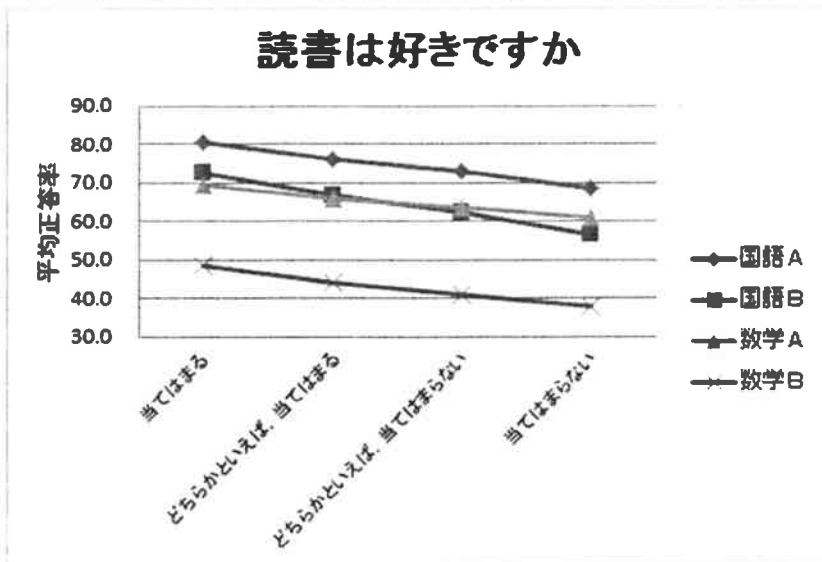
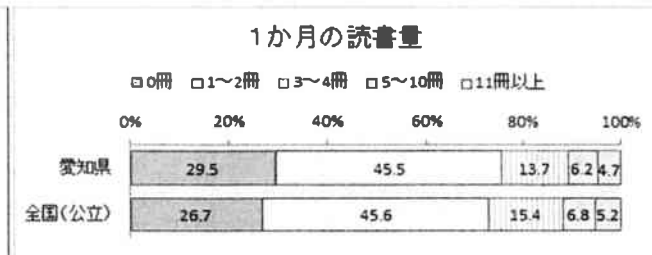
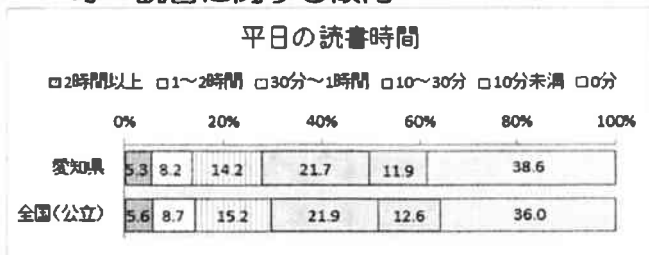
◇本県の傾向

平日のゲームやインターネットに費やす時間と平均正答率との関係を見ると、時間が増えるに従って最大 10~20%弱の平均正答率の落ち込みが見られた。本県の中学生は睡眠時間が少ないという結果も出ているので、健康な生活を送る上でも指導が必要である。

エ 携帯電話・スマートフォンの使用頻度と平均正答率に関する傾向



オ 読書に関する傾向



◇本県の傾向

本県の中学生の携帯電話の所持の状況は、全国より多い。また、読書については、読書時間、1か月の読書量ともに、全国に比べやや少ない。

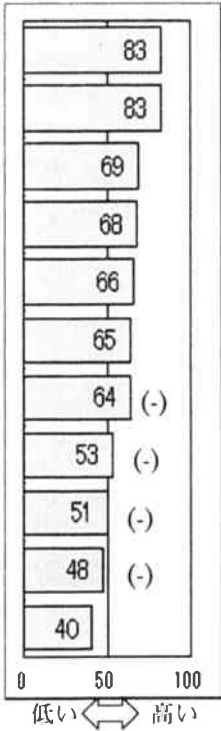
国語の教科に関する調査の結果が、数学に比べ伸び悩む状況や数学の記述式の問題における課題について考えると、読書習慣の形成はこれまで同様重要な手立ての一つとなると考える。

7 学校質問紙から見られた傾向

(1) 教科指導にかかわる内容

※(+)(-)は、全国と比べ明らかに高(低)い項目

小学校

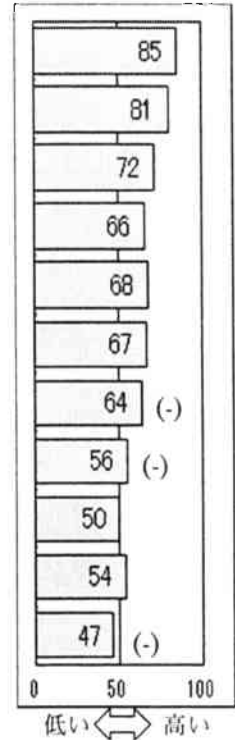


平成 25 年度回答の状況

- ・国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか
- ・算数・数学の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか
- ・国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか
- ・国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか
- ・教員は特別支援教育を理解し、前年度までに、授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫を行いましたか
- ・国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか
- ・算数・数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか
- ・国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか
- ・算数・数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか
- ・算数・数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか
- ・国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか

質問紙調査で全員が[1]と回答したら 100, [2]と回答したら 67
[3]と回答したら 33, [4]と回答したら 0
となるようにした指数, (-)内は全国比

中学校

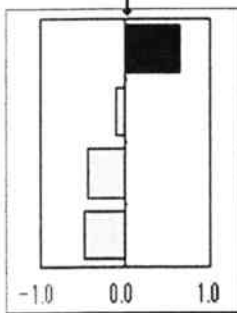


◇本県の傾向

- ・本県では、漢字の読み書きや計算を重視した指導を多く行っている。昨年と比較すると、中学校の国語の指導において、「基礎的・基本的な事項の定着」「書く習慣を付ける授業」「目的や相手に応じて話したり聴いたりする授業」をしていると回答した学校の割合が増加している。
- ・これまで同様、小・中学校ともに補充的、発展的な学習、実生活との関連を図った授業の実施状況が低い。

← 全国値 → +

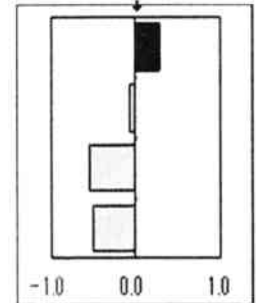
<少人数指導について>全国との比較



- ・前年度に、算数・数学において、チームティーチングによる指導を行いましたか
- ・前年度に、国語において、チームティーチングによる指導を行いましたか
- ・前年度に、算数・数学において、習熟の遅いグループに少人数指導を行い、習得できるようにしましたか
- ・前年度に、算数・数学において、習熟の早いグループに発展的な内容について少人数指導を行いましたか

(選択肢 1 を 1 点のように得点化し、平均した値で比較) 全国値=0.00

← 全国値 → +



◇本県の傾向

少人数指導については、小・中学校ともに算数・数学においてチームティーチングを実施している学校の割合が全国より高い。国の報告では、小学生と中学生では、習熟度別の少人数指導とチームティーチングを使い分けることで成果が上がるということが指摘されていることから、中学校の数学の低正答率層への対応のため、指導形態の工夫が必要である。

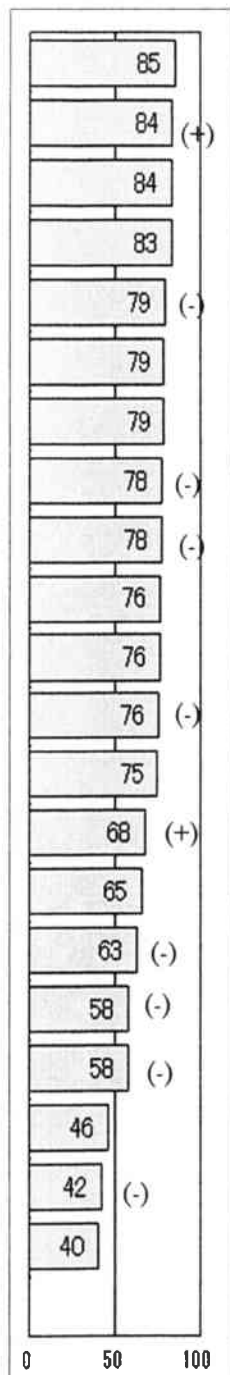
(2) 学校経営にかかわる内容

※(+)(-)は、全国と比べ明らかに高(低)い項目

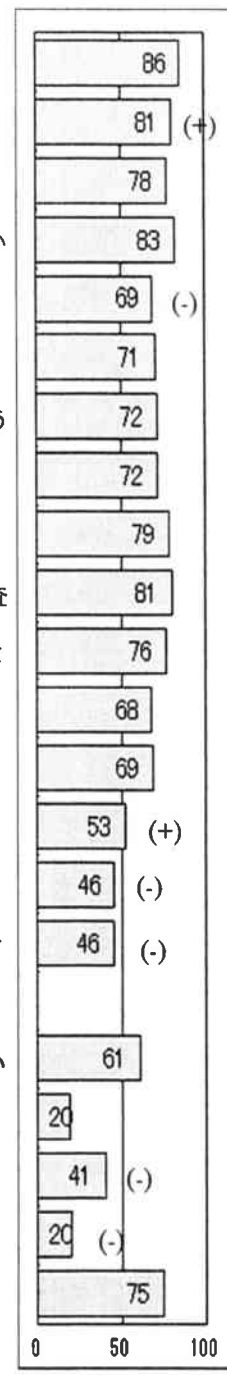
小学校

平成 25 年度回答の状況

中学校



- ・学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組にあたっていますか
- ・学校の教育活動の情報について、前年度にどれくらいの頻度でホームページを更新し、情報提供を行いましたか
- ・PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか
- ・学校評価を教育活動その他の学校運営の改善に結び付けることができていますか
- ・模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか
- ・保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか
- ・教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか
- ・学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか
- ・学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか
- ・保護者からの意見や要望を聞くために、学校として懇談会の開催やアンケート調査を前年度にどれくらい実施しましたか
- ・学習指導と学習評価の計画の作成にあたっては、教職員同士が協力し合っていますか
- ・校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか
- ・教職員は、校外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか
- ・授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか
- ・前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか
- ・学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者等が様々な活動に参加してくれますか
- ・保育所や幼稚園との連携を行っていますか(小のみ)
- ・教職員は、勤務している学校の地域や住んでいる地域の活動や行事に参加していますか
- ・前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか
- ・教科の指導内容や指導方法について近隣の小学校と連携(教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など)を行っていますか
- ・前年度までに、ボランティア等による授業サポート(補助)を行いましたか
- ・教科内にとどまらず学校として組織的に、指導力向上のための研修や取組を行っていますか(中のみ)



低い ← → 高い

◇本県の傾向

低い ← → 高い

- ・本県の小・中学校は、HPを更新して学校の情報を地域や保護者に広めるよう努力している。その成果として、PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとしてよく参加してくれる状況となっている。児童生徒質問紙でも、全国に比べ授業参観で来校する保護者の割合が多い結果が出ている。
- ・授業力向上のため、これまで同様、授業研究を多く実施している。
- ・小・中学校ともに近隣の学校間で連携した取組が少ない状況である。9年間を見通して指導体制を中学校区ごとに確立していくことで、接続における問題の解決を図りたい。

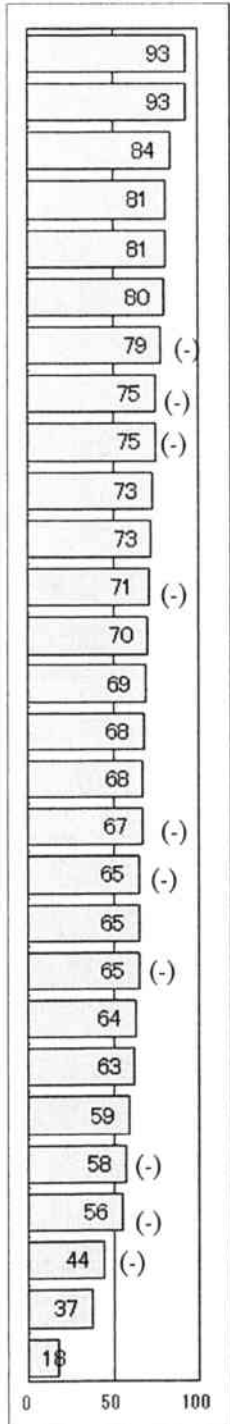
(3) 学力向上にかかわる内容

※(+)(-)は、全国と比べ明らかに高(低)い項目

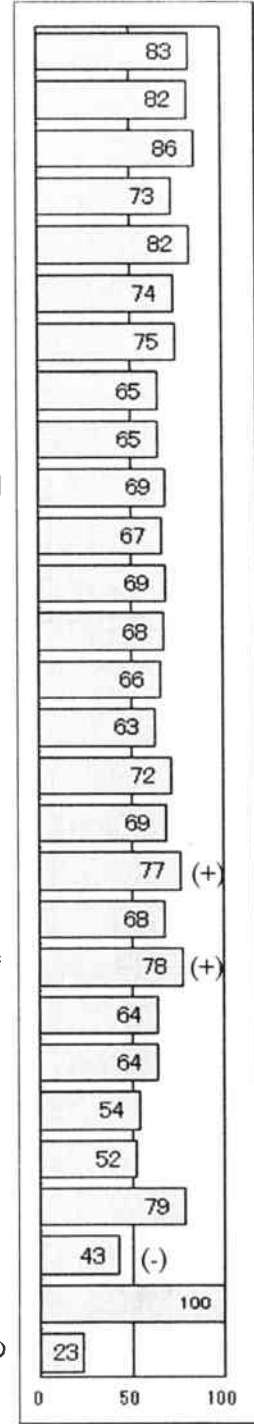
小学校

平成 25 年度回答の状況

中学校



- ・算数・数学の指導として、前年度までに、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか
- ・国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか
- ・前年度までに、学習規律の維持を徹底しましたか
- ・前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか
- ・前年度までに、学習方法(適切にノートをとるなど)に関する指導をしましたか
- ・前年度までに、児童・生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか
- ・前年度までに、授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を生徒に示す活動を計画的に取り入れましたか
- ・算数・数学の指導として、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか
- ・国語の指導として、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか
- ・前年度までに、生徒の様々な考えを引き出ししたり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか
- ・言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか
- ・前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか
- ・児童生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか
- ・前年度までに、生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか
- ・前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか
- ・児童生徒は、礼儀正しいと思いますか
- ・前年度までに、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか
- ・算数・数学の指導として、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図りましたか
- ・前年度までに、総合的な学習の時間で、課題の設定から始まる探究の過程を意識した指導をしましたか
- ・国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図りましたか
- ・児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか
- ・知識・技能の活用に重点を置いた指導計画を作成していますか
- ・児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか
- ・前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりする宿題を出しましたか
- ・生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか
- ・情報通信技術を活用し、協働学習や課題発見・解決型の指導を行いましたか
- ・職場見学や職場体験活動を行っていますか
- ・前年度に、授業以外で国際交流や外国語のコミュニケーション能力育成のための取組を実施しましたか



低い ← → 高い

◇本県の傾向

低い ← → 高い

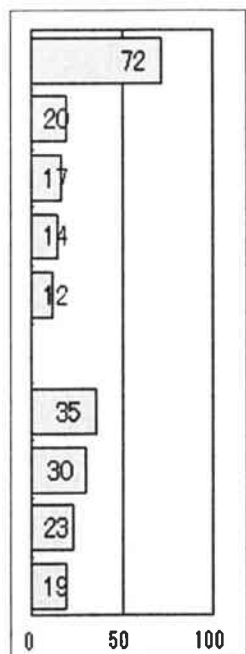
・宿題を与えたり、それを評価したりする取組、学習規律や学習方法に関する指導をしっかりと行っていると回答した学校の割合が多い。授業以外で児童生徒が進んで学習する習慣を付けることは、平均正答率との相関が強い。教師間及び家庭との共通理解を図った上で指導を続けていきたい。

- ・学級やグループで話し合う活動，児童・生徒の発言や活動の時間を確保すること，授業の冒頭で目標を生徒に示す活動を行っている学校の割合が高いが，児童生徒質問紙調査の結果と比較すると，教師と児童生徒の結果にやや差が見られる。25年度調査において，この差が小さい都道府県は，教科に関する調査で好成績を上げている。教師の取組が児童生徒に確実に伝わるよう指導法を工夫する必要がある。

小学校

平成 25 年度回答の状況 全国を基準とした比較

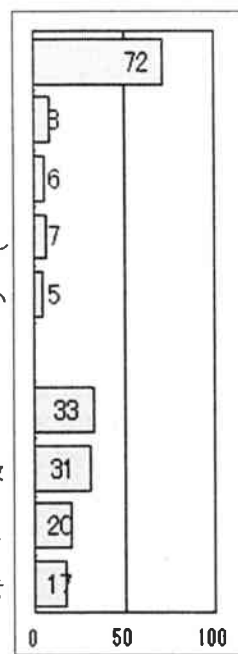
中学校



- <コンピュータやインターネットの活用>**
- ・コンピュータ等の基本的な操作を身に付ける指導を行いましたか
 - ・国語において，発表などする際に生徒がコンピュータを使う活動を行いましたか
 - ・国語において，普通教室でのインターネットを活用した授業を行いましたか
 - ・算数・数学において，発表などする際に生徒がコンピュータを使う活動を行いましたか
 - ・算数・数学において，普通教室でのインターネットを活用した授業を行いましたか

<全国学力・学習状況調査や独自の学力調査の活用>

- ・平成24年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を利用し，具体的な教育指導の改善等を行いましたか
- ・平成24年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を，学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか
- ・平成24年度全国学力・学習状況調査，独自調査や学校評価の結果等を踏まえた学力向上の取組を保護者等に働きかけましたか
- ・平成24年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果について，保護者や地域の人たちに公表や説明をしましたか



低い ←→ 高い

低い ←→ 高い

◇本県の傾向

- ・これまで同様，国語，算数・数学ともに，インターネットやコンピュータを活用については，すべての項目において全国値を下回っている。児童生徒質問紙調査において「コンピュータや電子黒板を使った授業は分かりやすい」と回答した児童生徒が多い現状を踏まえ，分かる授業，できる授業，楽しい授業の実現のため，効果的な活用を期待したい。
- ・学力調査の結果の活用についての項目も，全国値を下回っている。ただ，昨年度調査と比較すると，「結果を活用して具体的な教育指導の改善を行った」等の設問で肯定的な回答をした学校の割合はずいぶん増えている。
- ・平成24年度学力学習充実プランで示したように，普段の児童生徒の様子と併せて，客観的なデータからも児童生徒の実態を捉え，児童生徒の実態に合った授業改善を図るようにしていきたい。